



やわらぎの鐘

青梅市立第一中学校
学校だより 4月号
令和8年4月14日

令和8年度のスタートにあたり 校長 梅田 尚之

4月6日（月）に始業式、翌7日（火）に入学式が行われて、令和8年度がスタートしました。今年度は1学年に90名の新入生を迎え、通常の学級が1年生3クラス、2年生2クラス、3年生2クラス、G組が5クラスの構成となっています。特に、1学年は今年度から1クラスの定員が35名になっていることから、2年生、3年生と進級しても3クラス編成で進んでいくことになります。



始業式、入学式と全校の生徒が体育館に集まって行事が行われましたが、生徒たちは非常に礼儀正しく、立派な態度で参加することができました。校長として、非常にうれしさを感じたとともに、この1年間、更に生徒たちの良い面を伸ばしていかなければならないと責任を強く感じた次第です。

さて、今年度の目指す学校像は、

- ① 生徒が安心して通うことができる学校
- ② 保護者・地域が安心して通わせることができる学校
- ③ 教職員が安心して働くことができる学校

で、昨年度と変更ありません。こういった学校を実現するために日々の教育活動に励んでまいりますので、御理解と御協力のほどをよろしくお願いします。

具体的な取り組みとして、今年度に行っていくことをいくつか御紹介いたします。

《1》 デジタル教材「スタディサプリ」の導入【学力向上】

小1から大学受験対応までの教材がそろっています。小学校の内容からの学び直しや得意な教科の先取りまで動画教材や確認テストなどの教材が利用できます。

《2》 体育着の着用のしかたの柔軟化【生徒からの要望への対応】

昨年度の生徒からの要望で、「熱中症対策」の一環で、「体育着の上着のすそを出してもよいことにしてほしい。」という意見がありました。生徒や保護者の方々へのアンケートや職員間での検討を経て、「特別な指示の無い場合は、体育着のシャツのすそは出してもよい。」となりました。

《3》 呼称の統一【男女の決めつけをなくす】

これまで一中では、授業中は生徒に対して「～君、～さん」付けで呼称をしておりましたが、「男女の決めつけをなくす」を意識して、「授業中の呼称は『～さん』で統一する。」としました。

《4》 男女混合名簿の活用【男女の決めつけをなくす】

これまで一中では、入学式と卒業式のみでしか男女混合名簿は活用されてきませんでした。今年度から日常生活の中では男女混合名簿を基本としていきます。朝礼などの整列も男女混合列となります。

他にも様々な取り組みを工夫してまいります。保護者や地域の方々からの御意見も広くお聞きしてまいりますので、是非、お声をお聞かせください。今年度もどうぞよろしくお願いたします。